

株式会社 iLAC
ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社
クレコンゲノミクス株式会社

3 社共同による革新的ゲノム解析サービス提供グループ「TGMC」を創設 - 先端技術を活用したエピジェネティクス解析ソリューションを提供 -

1. 概要

株式会社 iLAC (代表取締役: 佐藤 孝明/以下、iLAC)、ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社(代表取締役社長: 松熊 研司/以下、RBI)、クレコンゲノミクス株式会社 (代表取締役社長: 伊藤 敏明/以下、CG) の3社は、共同で最先端のゲノム解析サービスを提供する企業連携グループ「筑波ゲノム情報製造協力組織」(Tsukuba Genome information Manufacturing Consortium 略称を「TGMC」といい、以下「TGMC」という。)の創設に合意いたしましたのでお知らせします。

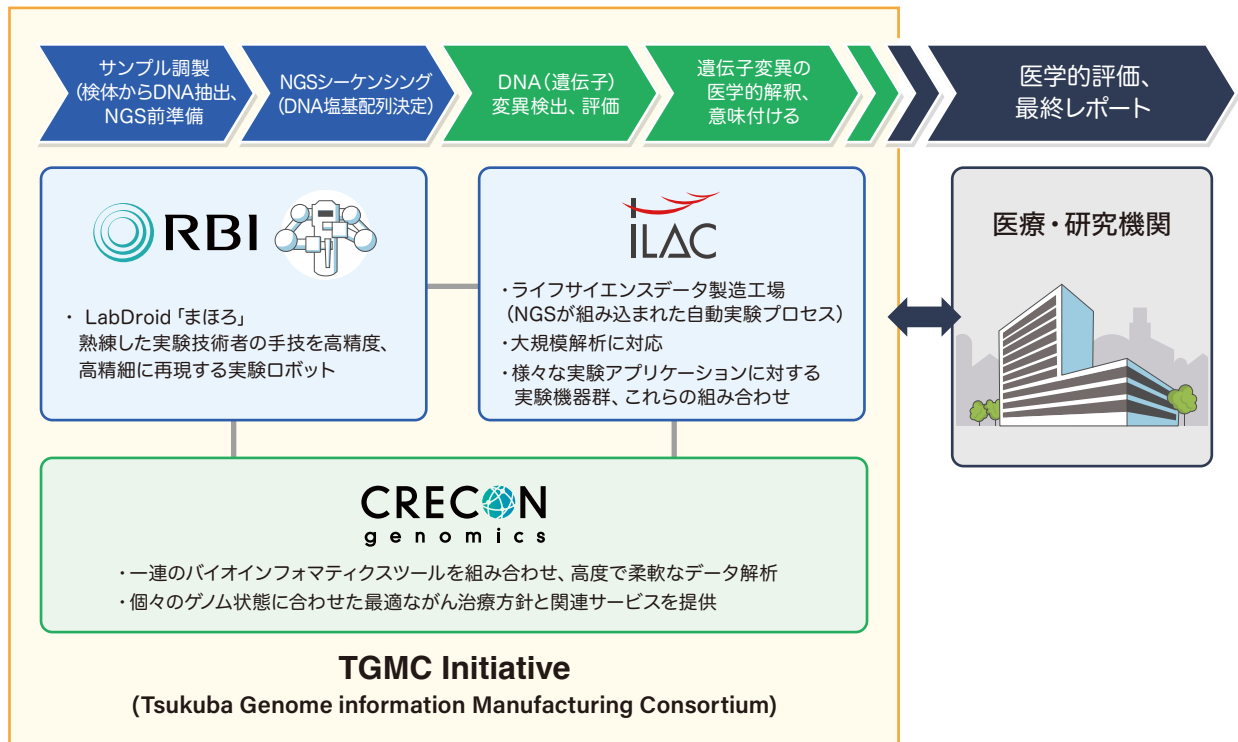
政府による全ゲノム情報の利活用が推進される中、TGMCはがんに関連する疾病の予防、早期発見、治療において、最新の国内外の研究成果をベースに、個人のゲノム情報に基づいた予防や治療に貢献することを目指しています。そのためにがんゲノム医療に不可欠な複雑なゲノム解析の障壁を取り除くことを目的としており、それぞれの会社が持つ技術と専門知識を結集させることで、必要とされる新たな価値を提供いたします。

2. 本創設に至った経緯

近年のゲノム研究の進歩により、遺伝子を調べることで、有効な医薬品の処方や治療方針の決定に繋がる機会が増えてきた中、遺伝子の変異(遺伝子を構成する塩基配列の変化)を調べることに加え、エピジェネティクス(遺伝子のオン/オフなど遺伝子の働き方を変える要因)も調べることで、より精度の高い診断や治療方針の提供が可能になることが明らかになりつつあります。その一方で、高精度なエピジェネティクスの解析は煩雑で時間のかかる実験操作を必要とし、実験を行うテクニシャンへの負担増大と検体の品質管理が大きな課題となっていました。TGMCでは、iLACのNGS(次世代シーケンシング)技術、RBIの長時間に渡る実験操作を高精度かつ高い再現性を持って行うことができる汎用ヒト型ロボット LabDroid「まほろ」、CGの遺伝子データ処理と高度なバイオインフォマティクス解析能力をシームレスで一体化させることにより、検体の遺伝子データの収集から解析、解釈までのプロセスを飛躍的に効率化、高精度化することが可能となります。

私共は、TGMCが創設されることで、がんゲノム医療を行う医療施設やこの分野の研究プロジェクトに貢献できると期待しております。また、TGMCが開発する遺伝子やエピジェネティクス解析ソリューション及び受託解析サービスの提供により、がんゲノム医療が画期的な進歩を遂げることを目指しています。

解析の流れと役割分担



3. 関連情報

【iLAC について】

社 名 株式会社 iLAC

代表者 佐藤 孝明

創 業 2012年8月15日

iLACは個人に最適な治療や薬の選択につながる「プレジジョン・メディシン(個別化精密医療)」の推進実現を目指し、多検体に対応したハイスループットなゲノム解析、発現解析、ゲノム構造解析を提供。また、プロテオーム・メタボロームなどオミックス解析ネットワークを有し、多次元マーカーによる病態評価体制を整えています。蓄積される精密で広範囲な高付加価値データベースは、新たな治療標的の発見、高齢化社会における健康長寿の実現、医療費抑制に貢献します。

URL : <http://www.i-lac.co.jp/>

【RBIについて】

社 名 ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社

代表者 松熊 研司

創 業 2015年6月22日

RBIは、汎用ヒト型ロボットLabDroid「まほろ」を開発し、生命科学分野の研究を加速することを目指しています。「まほろ」は、ヒトと同じ自由度の両腕により、熟練者の手技を繰り返し再現可能であり、手技を数値化・最適化することにより高精度の解析前処理が可能です。研究者が汎用ヒト型ロボット LabDroid「まほろ」と共に研究することで、最先端の研究にかかる膨大なコストや時間を効率化するとともに研究者の知的生産性の向上を実現します。

URL : <https://rbi.co.jp/>

【CGについて】

社 名 クレコン ゲノミクス株式会社

代表者 伊藤 敏明

創 業 2023年4月12日

CGは、過去65年間にわたり、医薬品に関する販売・流通を中心としたデータベースを構築してきたクレコンリサーチ & コンサルティングのゲノム領域を担う事業組織として、アカデミアと連携しながら最新の予防医療とDNA解析技術を通じて新しい診断手法の確立と普及を目指しているスタートアップ企業です。

クレコンゲノミクスは、がんの予防、早期発見、早期治療において、最新の国内外の研究成果を基に、個人のゲノム情報に基づいた予防法や治療法、および治療薬の選択に貢献しています。

がん予防の重要性とその社会的な意義はますます高まっています。当社は国内外の研究機関、医療機関、パートナー企業と協力しながら、「より正確に、より早く、より多くの方々へ」をビジョンに、新しい診断手法の確立と普及を目指します。

URL : <https://crecon-genomics.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 iLAC 総務契約担当：三好 E-mail: contactinfo@i-lac.co.jp

ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社

事業推進グループ：山口 HP: <https://rbi.co.jp/contact/>

クレコンゲノミクス株式会社 事業開発担当：松山 E-mail: info@crecon-genomics.co.jp
